平成25年２月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年１月11日

上 場 会 社 名　　株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7829　　URL　http://www.samantha.co.jp
代　　表　　者　(役職名)代表取締役社長　　(氏名)寺田　和正
問合せ先責任者　(役職名)常務取締役　　(氏名)菅原　隆司　　(TEL)03(5412)8193

四半期報告書提出予定日　　平成25年１月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年２月期第３四半期の連結業績（平成24年３月１日～平成24年11月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年２月期第３四半期	19,249	△13.5	171	△62.2	62	△85.1	△819	―
24年２月期第３四半期	22,258	5.4	453	△24.9	422	△22.3	266	△23.7

（注）　包括利益　　25年２月期第３四半期　△945百万円(　― %)　　24年２月期第３四半期　　39百万円(　― %)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年２月期第３四半期	△4,641 62	―
24年２月期第３四半期	1,511 11	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年２月期第３四半期	15,852	7,682	47.7
24年２月期	19,723	9,640	44.1

（参考）　自己資本　　25年２月期第３四半期　7,560百万円　　24年２月期　8,688百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年２月期	―	800 00	―	800 00	1,600 00
25年２月期	―	800 00	―		
25年２月期(予想)				800 00	1,600 00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年２月期の連結業績予想（平成24年３月１日～平成25年２月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△15.2	1,000	△29.8	900	△34.6	△550	―	△3,116 50

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　―　社（社名）　　、除外　　１社（社名）スタイライフ株式会社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年２月期３Ｑ	176,480株	24年２月期	176,480株
②　期末自己株式数	25年２月期３Ｑ	―　株	24年２月期	―　株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年２月期３Ｑ	176,480株	24年２月期３Ｑ	176,480株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などもあり、企業業績も改善し緩やかではあるものの回復の兆しが見えはじめました。しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の減速に加え、電力料金の値上げや消費税増税の動きにより内需も減速感が強まるなど、引き続き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましても、個人所得の伸び悩みや雇用不安による個人消費の停滞などにより、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、「良い人、良い場所、良い商品、良い宣伝」の実施を戦略にかかげ、効果的な店舗展開とプロモーション活動及び商品戦略などを展開してまいりました。

・店舗展開について

国内につきましては、平成24年５月22日に開業した「東京スカイツリータウン」の商業施設「東京ソラマチ」に、「おみやげ」をテーマとした新業態店舗「サマンサタバサアニバーサリー 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」などグループで５店舗の出店を行いました。さらに、「サマンサタバサプチチョイスプラス ダイバーシティ東京 プラザ店」、「サマンサタバサプチチョイスプラス 渋谷ヒカリエ ＳｈｉｎＱｓ店」、「サマンサタバサスイーツ＆トラベル 中部国際空港店」、「サマンサタバサ＆スイーツ キャナルシティ博多ＯＰＡ店」、「サマンサタバサプチチョイス　大丸東京店」、「サマンサティアラ 大丸東京店」、「サマンサタバサプチチョイスプラス 大丸梅田店」などの出店を行い、国内ではグループ合計で21店舗出店いたしました。

海外につきましては、中国・上海において「サマンサタバサ　上海久光店」、香港において「サマンサタバサ　崇光 銅鑼湾店」、韓国においては「サマンサタバサ ロッテ百貨店釜山本店」、シンガポールにおいては「サマンサタバサ TANGS VIVOCITY店」などを出店するなど、海外ではグループ合計で12店舗出店いたしました。

・プロモーション活動について

現在世界で最も活躍しているファッションモデルの１人である「ミランダ・カー」とプロモーションモデル契約を締結し、「サマンサミューズ　ＡＬＬＳＴＡＲＳ　ＣＭ2012」のＣＭ放映を行った他、サマンサタバサのジュエリーブランドである「サマンサティアラ」のＣＭ放映も行いました。さらに、平成24年７月20 日(金)から22 日(日)までの３日間、「イーグルポイントゴルフクラブ」（茨城県）にて、ＬＰＧＡ公認女子プロゴルフトーナメント「サマンサタバサ ガールズコレクション・レディーストーナメント」を開催いたしました。

・商品戦略について

ＣＭをはじめとするプロモーション戦略と連動した話題性のある商品を展開してまいりました。また、コラボレーション企画としては、テレビ番組や雑誌とのコラボレーションによるバックの制作などを行いました。

また、「サマンサタバサアニバーサリー 東京スカイツリータウン・ソラマチ店」のオープンに伴い、ギフトやお土産をテーマにしたマグカップをはじめ、キャンドル、グラス、ボールペンなどを取り扱う新ブランド「Samantha Thavasa Anniversary」を展開いたしました。

・重要な子会社の異動について

平成24年５月14日及び５月15日に公表しました「連結子会社（孫会社）の業務・資本提携および主要株主の異動に関するお知らせ」「特定子会社(孫会社)の異動に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社であったスタイライフ株式会社は、持分法適用関連会社へ異動しております。

・事業構造改革について

当第３四半期連結会計期間において、当社グループの中長期的な成長戦略の実現に向けて、経営資源の最適配分を図る事業構造改革を行い、低採算の事業、ブランド及び店舗の整理等を実施しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は192億49百万円(前年同期比13.5%減)、売上総利益は122億98百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は１億71百万円(前年同期比62.2%減)、経常利益は62百万円(前年同期比85.1%減)となりました。また、上記記載のとおり当第３四半期連結会計期間において、ブランド整理損及び固定資産除却損などを含む７億97百万円を特別損失に計上したため、税金等調整前四半期純損失は８億75百万円(前年同期は41百万円の利益)、四半期純損失は８億19百万円(前年同期は２億66百万円の利益)となりました。

なお、セグメントの業績については、スタイライフ株式会社が持分法適用関連会社へ異動したことに伴い、当社グループは第２四半期連結会計期間より単一セグメントへ変更しておりますので、従来記載しておりましたセグメントの業績につきましては記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は158億52百万円であり、前連結会計年度末と比較して38億71百万円減少しております。主な減少要因は、連結子会社の減少に伴う受取手形及び売掛金並びに無形固定資産などの減少によるものであります。

総負債は81億69百万円であり、前連結会計年度末と比較して19億12百万円減少しております。主な減少要因は、連結子会社の減少に伴う支払手形及び買掛金並びに長期借入金などの減少によるものであります。

純資産は76億82百万円であり、前連結会計年度末と比較して19億58百万円減少しております。主な減少要因は、連結子会社の減少に伴う少数株主持分などの減少によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第３四半期連結会計期間において、中長期的な成長戦略の実現に向けた事業構造改革を行い、低採算の事業、ブランド及び店舗の整理等を実施したこと等に伴い、前回の業績予想が変更となる見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成25年１月11日)公表いたしました、「特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年５月14日及び５月15日に公表しました「連結子会社（孫会社）の業務・資本提携および主要株主の異動に関するお知らせ」「特定子会社(孫会社)の異動に関するお知らせ」のとおり、当社の特定子会社であったスタイライフ株式会社は、持分法適用関連会社へ異動しています。この結果、当第３四半期連結会計期間末における連結子会社の数は７社、持分法適用関連会社の数は１社になっております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,471,749	2,714,064
受取手形及び売掛金	2,705,007	2,047,978
商品及び製品	5,768,566	5,466,637
仕掛品	17,163	－
原材料及び貯蔵品	180,704	135,308
その他	1,342,909	1,061,371
貸倒引当金	△2,314	△628
流動資産合計	13,483,785	11,424,731
固定資産		
有形固定資産	1,411,150	1,093,627
無形固定資産		
のれん	419,254	34,840
その他	949,440	180,869
無形固定資産合計	1,368,695	215,709
投資その他の資産		
差入保証金	1,918,130	2,025,587
その他	1,546,239	1,096,679
貸倒引当金	△4,698	△4,191
投資その他の資産合計	3,459,670	3,118,076
固定資産合計	6,239,516	4,427,412
資産合計	19,723,302	15,852,143
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,710,296	1,611,290
短期借入金	1,080,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,722,000	1,434,000
未払法人税等	289,347	4,757
引当金	189,246	298,200
その他	1,477,338	1,356,520
流動負債合計	6,468,228	6,204,769
固定負債		
長期借入金	3,295,430	1,868,000
引当金	26,690	4,089
その他	291,955	92,908
固定負債合計	3,614,075	1,964,997
負債合計	10,082,304	8,169,767

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年11月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,132,600	2,132,600
資本剰余金	2,252,600	2,252,600
利益剰余金	4,321,624	3,220,104
株主資本合計	8,706,824	7,605,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,715	△1,035
為替換算調整勘定	△22,151	△43,860
その他の包括利益累計額合計	△18,435	△44,896
少数株主持分	952,608	121,969
純資産合計	9,640,997	7,682,376
負債純資産合計	19,723,302	15,852,143

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年11月30日）
売上高	22,258,447	19,249,042
売上原価	9,312,348	6,950,337
売上総利益	12,946,098	12,298,704
販売費及び一般管理費	12,492,104	12,127,029
営業利益	453,993	171,675
営業外収益		
受取利息	679	4,345
受取配当金	37	7
為替差益	721	8,271
補助金収入	4,152	－
その他	18,639	8,736
営業外収益合計	24,229	21,361
営業外費用		
支払利息	50,269	33,931
持分法による投資損失	－	93,326
その他	5,491	2,799
営業外費用合計	55,760	130,056
経常利益	422,462	62,979
特別利益		
固定資産売却益	1,946	－
特別利益合計	1,946	－
特別損失		
固定資産除却損	283,433	163,745
投資有価証券評価損	854	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	58,928	－
持分変動損失	29,641	－
災害による損失	1,268	－
物流拠点移転費用	9,159	－
ブランド整理損	－	654,320
関係会社整理損	－	111,425
その他	－	9,236
特別損失合計	383,286	938,727
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	41,122	△875,748
法人税、住民税及び事業税	68,068	68,024
法人税等調整額	△91,411	△23,941
法人税等合計	△23,343	44,083
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	64,466	△919,831
少数株主損失（△）	△202,215	△100,678
四半期純利益又は四半期純損失（△）	266,681	△819,152

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年11月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	64,466	△919,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,453	△3,828
為替換算調整勘定	△19,377	△21,622
その他の包括利益合計	△24,830	△25,450
四半期包括利益	39,635	△945,282
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	246,114	△846,613
少数株主に係る四半期包括利益	△206,479	△98,668

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成23年３月１日　至　平成23年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ファッションブランドビジネス	ファッションｅコマースビジネス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,121,197	6,137,250	22,258,447	―	22,258,447
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,279	―	68,279	△68,279	―
計	16,189,476	6,137,250	22,326,726	△68,279	22,258,447
セグメント利益又は損失（△）	768,231	△310,482	457,748	△3,754	453,993

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△3,754千円は、主にセグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年３月１日　至　平成24年11月30日）

当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

従来当社グループは、「ファッションブランドビジネス」及び「ファッションeコマースビジネス」を報告セグメントとしておりましたが、連結子会社でありましたスタイライフ株式会社の持分法適用関連会社への異動に伴い、第２四半期連結会計期間より、「ファッションブランドビジネス」の単一セグメントへと変更しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。